

第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

イベント名	パネル展示
主催者	国土交通省九州地方整備局
開催日	2007年11月23日～12月4日（12日間）
開催時間	開催期間終日
開催場所	<input checked="" type="checkbox"/> 別府市内 <input checked="" type="checkbox"/> 大分県内 <input type="checkbox"/> その他
会場名	別府駅、大分駅
参加人数	名

開催概要（900字以内）

第1回アジア・太平洋水サミットの開催に併せて平成19年11月23日より12月4日の12日間にわたりJR別府駅と大分駅のコンコースにおいて、河川に係る気候とその影響や事業の取り組み、地域の活動、川あそびなどを紹介するパネル展示を実施した。

「気候変動とその影響」や「近年の九州地方における降雨特性と災害」では、近年の異常降雨の発生頻度や規模が拡大する状況をグラフなどを使って表現するとともに、災害が発生した場合の浸水範囲の拡大など、暮らしや住まいへの影響について、九州地方で過去に発生した河川災害の甚大さや怖さを伝える展示を行った。

また、大分県内を流れる大分川や大野川、山国川、番匠川などの河川とその周辺の自然の美しさ、素晴らしさを流域の方々が撮影した写真で紹介した。

さらに、各々の流域で河川愛護のために活動される地域の取り組みや地域とNPOや大学、行政とが連携し活動する状況を示し、地域が主体となって積極的に取り組む川づくり・まちづくりの様子を紹介した。



<JR 別府駅>



<JR 大分駅>



第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

日本水フォーラムに期待すること（600字以内）

地球温暖化や世界の水問題は生命と社会への重大な脅威です。

その解決のためには、世界各国との連携と併せて国内においても一人一人が出来ることを具体的な行動に移すことが重要であり、今後も持続的取り組みがなされるような環境づくり、様々な情報発信の継続をお願いしたい。

その他（オープンイベントを開催した感想、今後の予定など、600字以内）

気候変動やその影響の具体的な内容について、多くの方々に広く知って頂くきっかけとしては、絶好の機会であった。

また、大分県内の川や自然の美しさ、川を舞台に活動する地域の方々の様子を紹介するパネル展は、第1回アジア太平洋水サミットが閉幕した後も地元の公民館などで継続的に行われており、流域の方々があらためて地域の自然や水の大切さ・河川愛護活動の重要性を再認識するきっかけになったものと思われる。

